



杉並区議会だより

【発行】杉並区議会 【編集】区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>



なみすけとナミーの餅つき

今年もよろしく
お願い申し上げます

杉並区議会議員一同



令和5年
2023年

新年のごあいさつ



杉並区議会議長

脇坂 たつや

明けましておめでとうございます。

区民の皆様におかれましては、お健やかに癸卯（みずのとう）の年をお迎えのこととお慶び申し上げます。この干支は「水」と「うさぎ」。これまでの努力が実を結び、勢いよく成長し飛躍するような年になるように、大いに期待したいものです。

さて、昨年10月、杉並区は区制施行90周年を迎えることができました。これもひとえに、大きな功績を残してくださった先人の皆様のご努力があったからこそと、心か

ら感謝の気持ちと敬意を表します。今を生きる私たちは、これから大きな節目となる100周年を目指して歩みを進めることとなります。区は、新基本構想「みどり豊かな住まいのみやこ」をスタートさせたところですが、その実現には区民の皆様のご理解と協力が欠かせません。年初という機会を捉えて、自分たちが暮らす杉並区をどのようなまちにしていきたいのか、是非お一人おひとりが考える時間をつくってくださると幸いです。

また今年は、コロナ禍に突入して4年目になります。昨年までに新型コロナウイルス感染症への対応に追われながらも、徐々に日常生活を取り戻していくことが出来ました。感染拡大には引き続き十分な注意が必要ですが、様々な社会・経済活動との両立を図りながら、多くの方の笑顔が溢れる杉並区となるよう、区議会としましては、精一杯、尽力してまいります。本年も、どうぞよろしくお願い致します。

令和4年 第4回定例会

第4回定例会は、11月16日から12月6日まで21日間の会期で開催されました。初日から4日間は、24名の議員が区政一般について質問しました。

今定例会では、補正予算案2件、条例案10件など16議案の審議を行い、区長提出議案14件と付帯決議1件を可決し、議員提出議案1件を否決しました。（議案等の審議結果は8面をご覧ください。）

今号の掲載内容

会派から年頭のごあいさつ	2・3
区政を問う 一般質問	4~7
常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします	7・8
議案等の概要と審議結果 など	8

自由民主党 杉並区議団

新年おめでとうございます。冒頭、長引くコロナ禍の中、区民の命を守り、また感染拡大防止のためにご尽力いただいております医療関係者並びにエッセンシャルワーカー、区内事業者の皆様方に改めて厚く感謝を申し上げます。

昨年、ロシアによるウクライナ侵略という断じて許しがたい暴挙を契機に、我が国も燃料高・物価高騰に見舞われることとなりました。コロナ禍からの社会・経済活動の回復の足取りを大きく阻害しかねない状況に、政府の総合緊急対策、総合経済対策と軌を一にして、当区においても数次にわたる補正予算の中で困難に直面する区民や区内事業者への支援を機動的に行つてまいりました。

また4月には、審議会の総意と議会の議決を経て策定された新基本構想がスタートする中で、7月に岸本新区長が就任。基本構想の尊重、行政の継続性の維持を明言される一方で、今般行うとする主要計画の部分修正では、一部整合性に疑問の余地があるなど、議会の監視機能が一層重要性を増しています。

加えて、学童保育の待機児童解消に向けた取組の推進や、商店街などの地域経済対策の促進、医療介護の連携強化を通じた在宅医療体制の充実など、今日的な課題はなお山積しています。

私たちは、引き続き議会最大会派として、そうした区政の諸課題にしっかりと向き合い、地域活動の中でお伺いした皆様の声の反映に努めてまいります。

本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



浅井 くにお (副幹事長)



脇坂 たつや



吉田 あい



井口 かづ子



わたなべ 友貴



大泉 やすまさ (幹事長)



井原 太一



大和田 伸



今井 ひろし

杉並区議会 自由民主党

新年おめでとうございます。長引くコロナ禍の中、感染症に苦しんでいる方にお見舞いを申し上げるとともに、今の瞬間も最前線で御尽力いただいている全ての医療・福祉従事者の皆様に心からの感謝を申し上げます。

昨年より、杉並の今後10年間の指針となる杉並区基本構想が開始されました。「みどり豊かな住まいのみやこ」の理念実現に向け、我が会派も全力で取り組んでまいります。

昨年、我が会派はコロナ対策において、抗原検査キットの速やかな配布や、電話受付体制の拡充、自宅療養者フォロー体制の構築など、区独自の対策を講ずるよう要望し、いずれも実現しました。

また、ロシアのウクライナ侵略に起因する原油価格高騰に対しては、学校給食費などの保護者負担軽減措置や、区内中小事業者等の経済支援対策、非課税世帯への生活支援策など区民の皆様および事業者が安心できる対策を要望し、いずれも実現しました。

引き続き、区民の皆様の声に丁寧な耳を傾け、皆様の安全安心を守るため、必要な対策をしっかりと要望し、実現すべく全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

引き続き、区民の皆様の声に丁寧な耳を傾け、皆様の安全安心を守るため、必要な対策をしっかりと要望し、実現すべく全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

引き続き、区民の皆様の声に丁寧な耳を傾け、皆様の安全安心を守るため、必要な対策をしっかりと要望し、実現すべく全力で取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



安斉 あきら



大熊 昌巳 (副幹事長)



小川 宗次郎 (幹事長)



國崎 たかし



矢口 やすゆき



松浦 威明

立憲民主党 無所属クラブ

新年おめでとうございます。今年もコロナ禍が継続して

います。自粛と経済活性化の相反する施策が実施されていますが、状況をよく見極めて、臨機応変に対応しなければなりません。



太田 哲二 (幹事長)



山本 あけみ (副幹事長)

自民・無所属 維新クラブ

昨年の杉並区は区長選挙の結果、新区長が誕生するなど変化の年となりました。

一方でコロナの感染流行は今年で4年目となりますが、未だ終息の気配はありません。私達会派はウィズコロナ時代における感染症対策を回りながら社会経済活動の発展を両立させる社会を目指します。

また昨年から続く物価等の高騰は多方面に影響を及ぼしています。私達は行政と力を

合わせ、適時適切な対策により区民生活も守ってまいります。しかし行政といわゆる「馴れ合い」の関係になって議会に緊張感が欠けてしまつては、より良い解決策を見つけないとできません。議会本来の役割を常に意識して、岸本新区政に対しても「是々非々」の立場を貫いてまいります。

また私達会派は昨年末の定例議会にて「議員定数削減」の議案を提案しましたが、反対多数により否決されてしまいました。引き続き「身を切る議会改革」にも取り組みます。

合わせ、適時適切な対策により区民生活も守ってまいります。しかし行政といわゆる「馴れ合い」の関係になって議会に緊張感が欠けてしまつては、より良い解決策を見つけないとできません。議会本来の役割を常に意識して、岸本新区政に対しても「是々非々」の立場を貫いてまいります。



藤本 なおや (幹事長)



岩田 いくま (副幹事長)



松本 みつひろ



小林 ゆみ

今年の日本経済も、専門家ですら不透明・不確実を公言しています。特別政策を実行すれば万事好調になるという処方箋はありません。したがって、区内の経済状況を注視して、手遅れにならないよう、ぬかりなく対応しなければなりません。経済苦に陥っている人に対しては、個別に密着して相談すれば、なにかしら

対応策があるものです。相談体制の充実・強化が必要です。今年ゼロカーボンに向けて、住宅の断熱化、太陽光発電、省エネ、リサイクル等具体的な施策を強力に実行せねばならない年です。区民一人ひとりの協力が不可欠です。本年も多くの皆様のご指導・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。



川野 たかあき



ひわき 岳

共に生きる杉並

新年を謹んでお慶びを申し上げます。ご家族皆様のご健康とご多幸を、心よりお祈り申し上げます。

大自然と共に、人々と共に、共に生きる世の中を、杉並から広げていきましょう。

かけがえない私たち一人ひとりの命が輝いて生きていく杉並を、区民の皆様と目指してまいります。



木梨 もりよし



杉並を耕す会

岸本区長の下、2024年度から杉並でもやっと、家賃助成が始まります。どんな人にくらへん人という詳細はこれから。杉並に住み続けたいという方は9割超え。だから、住み続けられるまちをつくる。どんなまちにするかは、みんなの対話で決めていく、それが「杉並新時代」。どうぞ一緒に、ご参加を。



奥山 たえこ

杉並区議会

新年おめでとうございます。

長引くコロナ禍やロシアのウクライナ侵略などの影響で、物価高騰をはじめ様々な生活面で不安を抱えておられる方も多いと思います。一日も早い平穏な暮らしを取り戻せるようお祈り申し上げます。

昨年は新たな区の基本構想のスタートの年となりました。また、区長選挙の結果、新区長も誕生いたしました。首都直下型地震や頻発する水害などへの備え、感染症対策、デジタル化の推進、超高齢社会・2040年問題へのいち早い対応、子育て支援の充実、まちづくり、施設再編整備等、課題は山積しています。基本

構想実現に向け、また、社会経済環境の変化の速さを鑑みれば、迅速な対応が求められます。

昨年は本予算議決の後、コロナ禍でもあり、わが会派は、区民福祉の向上のため8回の補正予算の議決に積極的に取り組んでまいりました。新区長が杉並区政で何をされたいのか未だ不明ですが検討や検証を乗り越えて区政を進めていかなければなりません。

区民ニーズに的確に答える人材の育成・確保や、様々な危機への備えとしての基金のあり方など、後回しにはできません。皆様に安心していただけるよう、わが会派は、今後も迅速に諸課題に取り組んでまいります。本年もよろしくお願いたします。



北 明範



川原口 宏之



大槻 城一



渡辺 富士雄



島田 敏光
(幹事長)



山本 ひろ子



中村 康弘
(副幹事長)

杉並区議団

新年おめでとうございます。昨年行われた区長選挙では岸本聡子区長が誕生し、新たな区政が始まりました。これは、前区長による区民無視・



くすやま 美紀

いのちのクラブ

新年おめでとうございます。

ロシアによるウクライナへの軍事侵略に端を発したエネルギー問題や物価高騰は、コロナ禍で疲弊した人々の暮らしにさらに追い打ちをかけています。人の命を奪い地球環境を破壊する戦争を許して許してはなりません。一方、敵基地攻撃能力の保持をねらう政府の軍備増強とそのため増税は看過できません。また、統一教会と与党議員との関係

で政策が歪められてきたことは政治不信に拍車をかけました。その中で、杉並区では7月に初の女性区長が就任し、

新区長のもと、対話と情報公開を意識した区政運営が始まりました。いのちのクラブは、第一に憲法を区政に生かし、区民と共に進める政治を心がけます。新たな基本構想の実現に向けて、持続可能で誰一人取り残さない、一人ひとりを大切にしたいと、本年もどうぞよろしくお願いたします。



けしば 誠一



新城 せつこ
(副幹事長)



奥田 雅子
(幹事長)



そね 文子

都政を革新する会

新年おめでとうございます。

昨年は安倍元首相の国葬や岸田政権の軍事予算2倍化の大軍拡に反対し、多くの区民や若者とともに街頭で声をあげました。戦争絶対反対が私の信念です。前区長が進めた阿佐ヶ谷などの再開発計画や児童館廃止を止めるために全力を尽くします。一緒に行動しましょう！



ほらぐちともこ

正理の会

あけましておめでとうございます。

昨年も区政向上に関する、大変貴重なご提言、ご意見を下さりまして誠に有難うございました。心より御礼申し上げます。

医療従事者の皆様に心より感謝申し上げます、本年も感染終息、区民の皆様のご健勝とご多幸を、心よりお祈りしております。



佐々木 千夏

無所属

世界的な物価高騰に円安等

が加わりスタグフレーションが始まっています。金利上昇に備えなければなりません。超低金利の継続を前提に策定していた建設計画等の推進は非現実的で全面見直しが必要不可欠です。既得権を盾に対応が遅れば、将来世代の負担は重くなる一方です。本年も付度なしで課題に取り組みます。



堀部 やすし

区政私物化の区政運営に審判が下され「区民の声を生かしてほしい」という多くの区民の願いが示された結果です。

岸本区長が就任し、半年が経過しましたが、区民の声を重視する区政に変わり始めています。

前区政が進めてきた児童館やゆうゆう館の廃止計画、都市計画道路整備について、区民の声を聞き再検討する努力が始まりました。くらしに関わる施策でも、



金子けんたろう
(副幹事長)



山田 耕平



富田 たく
(幹事長)



野垣 あきこ



酒井 まさえ

前区政のもとで値上げされた学校給食費を引き下げ、23区

の多くで実施されており、日本の願いが示された結果です。岸本区長が就任し、半年が経過しましたが、区民の声を重視する区政に変わり始めています。

前区政が進めてきた児童館やゆうゆう館の廃止計画、都市計画道路整備について、区民の声を聞き再検討する努力が始まりました。くらしに関わる施策でも、

最優先」「区民こそ主人公」という本来あるべき自治体への扉が開きつつあります。

日本共産党杉並区議団は、こうした前向きの変化をさらに前進させ、物価高騰と新型コロナウイルス感染症拡大から区民のくらしと営業を守りぬくために本年も全力を尽くす決意です。

杉並わくわく会議

新年おめでとうございます。

ウクライナ戦争を契機として好戦的言論が目立ちます。私はあくまでもアジアの平和共存を追求します。

杉並区では昨年、岸本区長が初当選、区政の転換へ一歩前進しました。児童館や駅前再開発など問題山積ですが、住民自治に基づく解決をめざし、今年も奮闘して参ります。



松尾 ゆり

自民党

新年おめでとうございます。

昨年の杉並区議会補欠選挙において、区政の場へお送りいただきましたこと、厚く御礼申し上げます。昨年は、長引くコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵略に由来する物価高騰など区民の皆様にも大きな影響を及ぼしました。少しでも皆様のお力になれるよう粉骨砕身してまいります。



へんみ 純一

区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といたします。

11月16日～21日に24名が質問しました。その要旨をお知らせします。

※2次元コードを読み込むと、質疑応答の全容を質問者別の動画でご覧になれます。

物価高騰対策を最重点に、区民の声をいかに予算編成を

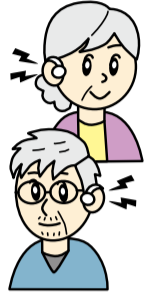


くすやま美紀 (共産)

問 来年度予算編成の最重点、最優先課題として、物価高騰対策に取り組みを求む。

答 区民生活は危機下にあるという認識を持ち、区民生活を最優先に考える予算を示せるよう全力を尽くしていく。

問 家賃助成、高齢者の補聴器購入費助成の実施、就学援助の拡充・給食費の無償化に向けた検討を求める。



答 家賃助成は令和6年度からの実施に向け令和5年度に検討、補聴器購入費助成は実施に向けて検討、学校給食の無償化を含めた保護者負担軽減については、検討組織を設置した。

問 区民意向調査で、前区長が進めてきた児童館廃止や、西荻窪駅前再開発、道路計画に厳しい批判が多数寄せられた。こうした意見を受け止めるべき。

答 これまで以上に耳を傾け、新年度の予算編成にあたっていくことが大切と考えている。

問 都市開発関係の税金投入について、必要性、緊急性、妥当性を厳しく精査せよ。

答 区民との対話を経て地域ごとの現状や課題を的確にとらえ、事業に取り組んでいく。

シニア世代の生きがいづくり、地域がつながる居場所を望む



井原太一 (自杉)

問 ゆうゆう館はどのように使われているか、現状と利用状況および課題を確認する。

答 登録団体の活動に加え、高齢者の社会参加を推進する各種講座等、様々な事業を展開してきた。その結果、利用者数は平成20年代には年間40万人台で推移したが、近年、大幅に減少している。また、施設の老朽化や夜間の時間帯の利用率が低いこと、世代を超えて地域の人々が交流し、つながりを作るための場とすることが大きな課題である。

問 安心して気がねなく集える場所があると、人の輪が生まれ人生が豊かになり健康にもつながる。区の見解と取組を問う。



答 地域共生社会に向け、世代を超えて地域に人同士が交流し、つながりを作るための場の確保が重要と考えており、その実現に向けた取組を進めていく。

問 多世代が障害の有無にかかわらず集える「地域がつながる居場所づくり」は大変重要だ。区の今後の展望を問う。

答 世代の違いや障害の有無に関わらず集える居場所があり、安心して過ごすことができるまちづくりを目指していく。

結論ありきのパートナーシップ条例制定には断固反対します



わたなべ友貴 (自杉)

問 区は、これまで制度創設に慎重と考える性的少数当事者の話を区民に伝えているか。このような状況で区民へ正確な理解促進がされたと考えるか。

答 一定の理解促進が図られた。同性カプルの日常の困難として挙げられる、病院での対応や賃貸住宅に入居できないことについて、現状を調査したか。

問 パートナーシップ制度導入は、制度導入に慎重な性的少数当事者の方に対して、何一つ不利益はない、という認識か。

答 不利益は生じないと考える。制度に事実婚を含めるのであれば、区民が「事実婚」についてどのような考え方があろうか、また「事実婚」当事者の方などのような不便を抱えているのか、実態を把握する必要があるが、区は調査をしているのか。

問 内閣府の調査結果がある中で、区の調査は想定していない。パートナーシップ条例を際のない実効性のあるものにするためには、時間をかけた議論が必要。年度内提出という期限を定めず丁寧に取り組んでほしい。

答 次の4月の制度化を目指す。

杉並区まちづくり基本方針骨子案は内容の明示が不十分!!



浅井くにお (自杉)

問 まち方針は、都市づくりの具体性ある将来ビジョンを定め、地域別の将来あるべき姿を明示し、地域における課題とこれに対応した整備等の方針を明らかにするものである。中でも、まち方針と杉並区みどりの基本計画との位置付けは、ハードソフトの連携が必要な計画とすべきか。

答 みどりの基本計画の位置付けの変更は考えていない。ゼロカーボンシティ宣言の温室効果ガス排出量ゼロを目指すには、区民が生活を見直すことを書き込むべき。

問 区民のライフスタイルの見直しも重要な視点の一つ。まちづくり方針に反映を検討する。

答 地域別方針の井草地域には、上井草駅の交通結節点機能の強化が書かれている。4つの高校の生徒や多くの通勤客などの乗り降りがある。朝夕上下線の通過列車を複数本停車させよ。また、都市計画に定められている上井草公園を明記すべき。

問 列車の停車は、鉄道事業者の判断によるもの。住民等の要望など地域の状況を注視したい。上井草公園は、まちづくり方針案に記載していく。



子供の居場所、行財政改革、富士見丘小跡地活用



岩田いくま (無維)

問 区立施設再編整備計画(案)において、令和6年度開始の放課後等居場所事業が、元々の5校から1校に減少。子供達が得意としていた新たな居場所を奪う施策であることを、肝に銘じていただきたい。

問 区立施設再編整備計画(案)における、令和6年度開始の放課後等居場所事業が、元々の5校から1校に減少。子供達が得意としていた新たな居場所を奪う施策であることを、肝に銘じていただきたい。

問 子どもの居場所づくりについては、今後の取組の方向性を改めて検討することとし、一部の事業を除き、一旦休止することとした。

問 平成29年に、RPA(人が行う定型なPC操作を自動化する技術)導入を提案した。現在における導入効果や評価は。

答 RPA等自動化ツールを27業務において活用し、年間約5200時間の業務時間削減効果を見込んでいる。超過勤務の縮減や迅速で正確な事務処理に大きく寄与。

問 行政評価制度見直しの方向性は。

答 行政評価と予算編成の連動性強化を検討。

問 富士見丘小学校移転後の跡地活用、検討の進め方は。

答 地域の意見を丁寧にお聴きしながら、行政需要や民間活力の活用など様々な角度から検討。

区職員逮捕、予算編成基本方針、不登校特例校、ペアプロ



松本みつひろ (無維)

問 住基法違反で区職員が逮捕される事件が起きた。区長と幹部職員の責任をどう考えるか。

答 事実関係が明らかになり次第、区長の責任、幹部職員の管理監督責任を速やかに判断する。

問 区長公約の新規事業のうち、実行計画修正後も計画外での実施を検討しているものがあるか。

答 計画事業になじまない取組もある。その場合予算対応等による実施も検討する必要がある。

問 基本方針に「ウクライナ侵略」とあるが、国の公的な発信は侵略。区も侵略と表記すべきか。

答 区も今後、侵略で統一する。

問 SROIの観点で不登校特例校をどのように捉えているか。

答 多様な学びの場の構築が重要。SROIの観点から不登校特例校は重要な役割を果たせる。

問 パパママ学級への参加を希望する経産の方を受け入れるために、要件から初産を外しては。



答 受講希望者が多く対面学級は対象拡大できないが、オンライン形式での対応を検討したい。

問 ペアレントプログラムを実施することについて区の見解を。

答 まず要保護・要支援家庭を対象に、早期実施に向け検討中。

戦争反対！再開発・道路整備は撤回を！



ほらぐちともこ (革新)

岸田政権の「防衛予算2倍化」について区長の見解は。

防衛費については、国会の予算審議において十分議論がなされるべきと考えている。

前区長の阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくりや都市計画道路の整備等の再開発計画を区長はどう考えているか。

大規模な公共施設の整備等に伴う事業は、地域の人々の暮らしを大きく変えるものであるため、計画の段階から、地域の人々が多くの情報に触れ、住民同士が様々な意見に耳を傾けながら対話を重ねる住民主体の取組が必要と考えている。



都市計画道路について、区長は議会答弁で「事業の必要性」を述べているが、住民の多くが反対の場合でも計画を進めていくのか。

既に事業認可を取得している都市計画道路については、住民との合意形成を図りつつ事業を進めていく。また事業認可を取得していない事業については、防災機能の強化や環境負荷の軽減を図る観点などから効果を検証し、その結果を踏まえて必要性を検討していく。

ひきこもり・安全対策・児童虐待・ヤングケアラーについて



今井ひろし (自杉)

総合経済対策の妊娠・出産に向けた伴走型支援・経済的支援実施について状況を確認する。

妊娠からの切れ目のない伴走型支援の充実に努めてきた。都や他区との状況を踏まえ、適切な対応ができるよう尽力する。

通園バスの置き去り対策について、国の義務化の前に先行して実施すべきと考えるが、区取組を問う。

「こどもバス送迎・安全徹底プラン」に、所在確認等の義務付けについて、関係府省令を公布すると示されている。公布内容を確認し、通園バスを利用する区内私立幼稚園を支援する。



23区でも調査が進んでいる「ひきこもり」の実態調査に向けた当区の見解を問う。

様々な取組から実態を知ることが重要であり、くらしのサポートステーションの相談例等も参考に実態把握に努めている。

児童虐待対策としてヤングケアラーの実態調査を早期に実施し、支援拡充を求めるが、実態調査を行い、その結果を必要な支援につなげ、ヤングケアラーが地域で孤立することのないよう、しっかり取り組む。

緊急する国際情勢下、区の安全保障全般を区長に問う！



佐々木千夏 (正理)

武蔵野市長が再提出する意向の「外国人住民投票条例案」は、外国人が合法的に地方自治体に乗っ取ることも可能にする大変危険な条例案である。区長も「区民であれば、国籍の差別なく、投票権のある住民投票条例を制定」と明言。外国人の意見を聞くのであれば、公聴会を開くべき。なぜ、それより先に条例を制定しようとするのか。

住民投票制度については、そのあり方について他自治体の動向も踏まえ、一定の時間をかけて検討することとしている。その過程において、様々な手法で区民の意見を幅広く伺っていく考えである。

北朝鮮からの核攻撃だけでなく、中国共産党の指令により、国内在住の中国人が人民解放軍兵士となり、区内施設や区民に危害を加える危険性が現実味を帯びてきている。区独自で核シェルター配備を検討すべき。

他国からの攻撃に備える核シェルターの配備は、国防政策として国が一元的に判断することであり、現時点では、自治体が独自に対応することにはなじまないと考えている。



緑ゆたかな環境を子どもたちへ継承するための具体策を問う



山本あけみ (立無)

緑を育み自然と人の営みが共存できるまちづくりや緑被率の目標は、量的目標だけでなく豊かな質の観点の取組が重要な。計画的緑化で都市価値向上を。

大規模公園等と河川や幹線道路沿い、さらに屋敷林や農地、学校のみどりを生垣や庭先のみどりでつなぐ取組充実で目に入るみどりの豊かさが都市価値向上の実現につながるよう目指す。

公園にはコミュニティ醸成の場の機能もある。周辺住民の意見聴取に留まらずドッグランやスケートボード場など新しい利用の要望も吸い上げ、実現を。

公園の規模や立地といった条件を満たす必要があり、そのような公園整備の際はニーズを区民との話し合いの場で共有する等、指摘の点を含め検討する。

カーボンニュートラル実現へのグリーンインフラの取組を地球温暖化対策実行計画に盛り込み有効策として取り組むべき。

新環境基本計画では自然環境が持つ多面的な機能を生かしたグリーンインフラの取組を進めることとし、地球温暖化対策実行計画でも有効な取組として記載し推進していくことを検討。



「フェーズフリー」の考えを防災に！



中村康弘 (公明)

「フェーズフリー防災」とは、平常時・非常時の局面の境目をなくし、日常使うものが、いざという時にも活用できるようにしておくという考え方である。防災意識の向上に意義ある考えと思うが、区の考えは。

日常の中で防災に取り組み、防災意識を高めるためにも意義のあることと考える。

区立学校での防災教育の実施状況や考え等を確認する。

危険を予測し対応する行動を身に付け、災害時の思考力・判断力を育むよう実施している。確実な証明書の発行の迅速化へデジタル技術等の活用も検討していただきたい。

他自治体が民間企業と共同研究しているドローンやAI等を活用した被災時の対応事例について可能性を考えていきたい。

デジタル化推進に伴い災害時にICT環境が必要な場面が拡大する。情報システムの継続性(ICT-BCP)と行政のデジタル化との連動については、業務継続が適切に図れるよう、区のデジタル化に合わせて運用マニュアル等の整備や、職員への教育・訓練を実施する。



中央自動車道・高井戸ICオンライン早期開設を求める！



安齊あきさら (自民)

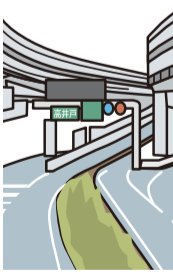
区が行ったアンケート調査では、8割以上の区民から、高井戸ICに中央道方面への入口の設置を求める回答が寄せられている。このアンケートはどのような意図でいつ行われたのか。

将来のまちづくりと交通に関する意見をいただき「杉並区まちづくり基本方針」や「杉並区地域公共交通計画」を検討する上での基礎資料とするため、令和3年12月に実施した。

高井戸IC周辺の環境の変化により解決した内容と、現在解決が難しいような課題とは。

富士見丘小学校が令和5年度に当該地から移転し、計画が示された当該時に課題であった教育環境は改善されると考えている。一方でICの位置や構造等は、事業者が地域住民団体と結んだ協定に基づき、対話を継続し解決すべき課題と捉えている。

区内運輸事業者・労働者から、高井戸ICの早期開設を求める声が寄せられている。今後のIC整備に関する区の見解は、地域住民の懸念に対して、対策を示しながら対話を行い、多くの方々に理解を得て進めるよう事業者に働きかけていく。



西荻の道路計画は見直しを、プラザ内に小学生利用の機能を



山田耕平 (共産)

都市計画マスタープラン骨子案への549件の意見のうち、西荻の道路や再開発を懸念する声は130件弱。補助132号線の見直しを求める声は根強い。区長の受け止めと意見の反映を。

寄せられた意見は優れた見識と参考にすべき点が多い。都市計画道路整備は寄せられた声に真摯に向き合い、意見を踏まえ、骨子案修正版を公開した。

西荻窪の駅前再開発を根拠も葉もないことのように言う議員がいるが、2019年前後に再開発を目指す団体が動いていた事実経過は情報公開資料等からも明らかではないのか。

事実経過は認識している。その動きに住民は懸念の声を寄せている。今後のまちづくりは、区民に開かれた議論をすべき。

児童館のプラザ転用は小学生のサードプレイス等の児童館機能を付加する検証を。遊戯室等の小学生利用等を進めるべき。

提案を参考にサードプレイスの必要性等の検討を行っている。小学生以上の居場所の拡充を求める意見がある。プラザ内で曜日や時間帯を精査し、小学生以上の居場所を検討している。



提案を参考にサードプレイスの必要性等の検討を行っている。小学生以上の居場所の拡充を求める意見がある。プラザ内で曜日や時間帯を精査し、小学生以上の居場所を検討している。

ゆうゆう館の再編、補助133号線等、区立公園のトイレ



酒井まさえ (共産)

問 ゆうゆう館を廃止し、コミュニティふらっとへの機能継承により、区民から「遠くなる、施設が減る、物が置けない」などの意見がある。

答 機能継承については、様々な区民意見を踏まえ、計画策定の中で新たな方針等を決定する。

問 まちづくり基本方針(骨子案)に区民から意見が549件寄せられ、133号線に反対・見直しの声は126件ある。骨子案は、133号線の「整備」等が削除されるなど修正も行われており、整備は見直すべき。

答 133号線は防災機能の強化や環境負荷の軽減を図る観点から効果の検証を行い検討する。

問 五日市街道から高千穂大学までの主要生活道路の途中にある大成橋の架け替えについて、拡幅しないことを求める。

答 善福寺川の河川整備に伴い歩行者の安全等から拡幅される。

問 公園は区民の憩いの場。誰もが安心して利用できるようにトイレの清掃や梅里中央公園等のトイレの洋式化を進めてほしい。



答 トイレ清掃は、利用状況で対応。梅里中央公園、梅里区民集会所のトイレの洋式化は検討。

「区長の特権」について「古事記」教育について



松浦威明 (自民)

問 区長職の対価は、4年間で退職手当と給与等で1億円強である。区長公約どおり、退職手当について適切な金額や支払い基準を検討し引き下げたのと同じく、対価の大半を占める給与等もその基準で議論されると思うが、いつどのように行うのか。

答 給料等は審議会に諮問し答申を踏まえ改定している。諮問の際に区長が基準等を示すのは審議会の議論を妨げ適当でない。

問 教育は、言葉と物事に対する考え方を教えるのが大切。「練習」は習ったものを練り、その反復運動で体と頭に覚えさせ結果を求めるのが目的。「稽古」は、古事記の中の言葉で縦軸と横軸という時間と空間を含めた三次元の中心に自身の立ち位置を認識することで自分の道を見定め、未来を開いていくことが目的。教育現場で「古事記」や「稽古」等、言葉やその考え方をまた「形」や「道」の意味を教員や生徒にどう教えているか。

答 「稽古」等の言葉の意味は指導していないが一つの考え方として教えている。「古事記」は歴史の学習で国家の成り立ちを学ぶ際に神話として教えている。



「蓄雨」や「雨庭」でグリーンインフラのまちづくりを!



奥田雅子 (平和)

問 気候危機問題をどう捉え、未来に豊かな地球環境をどう引き継いでいくのか。

答 気候正義の考え方を区民とも共有し、全ての主体が地球温暖化対策に取り組めるよう環境施策を推進していく。

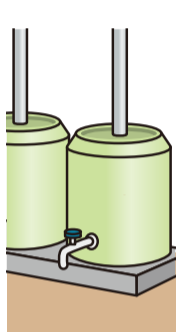
問 あまみず利用の基本的な考え方を明らかにした利用促進に関する計画の策定予定は。

答 水を資源として再利用する重要な取組のため、他自治体の事例などの研究も進めていく。

問 建物を建てる際に「蓄雨」の視点で設計提案ができる人材育成、情報収集や発信が必要。職員が「蓄雨」の仕組みをよく知り、関係部署との連携、区民や事業者へのわかりやすい周知が必要と考えている。

問 グリーンインフラのまちづくりに「雨庭」の取組も広げてほしいが区の見解は。

答 公園や歩道等の整備では、立地条件や施設規模等に応じ「雨庭」の視点で整備に努める。



答 アンケートで利用状況や課題を把握、設置意義等を共有し設置者増への周知啓発に努める。

外環工事が区内に入る前に住民が安心できる説明会を求める



けしば誠一 (平和)

問 シールド機が区内に入る前に沿線住民にどう周知するのか。区から説明会を求めて欲しいが。

答 区民に対して丁寧な説明を行うことをこの間も求めており、今後も機会を捉え求めていく。

問 一般家庭の地中熱利用で深度50〜100mが利用されており「通常使用しない地下空間」という大深度法の前提が崩れている。見直しが必要と考えるが。

答 地中熱利用システムは、将来的に一般化は少ないと考えられ、通常使用しない地下空間として扱われると認識している。

問 シールド機の故障が住宅地の下で起きた場合、地上からの補修が必要となるが、対策は検討委員会で議論されたのか。住宅に被害を及ぼす地上からの開削は行わないことを保証すべき。

答 委員会で対策が議論されているが示されていないが区は再発防止対策の徹底を求めている。

問 外環道建設事業の安全を担保するために、事業者から独立した第三者機関を設置すべき。



答 第三者機関の設置について明言は控えるが、有識者委員会で議論された内容を丁寧に説明することが大切と考えている。

コロナ下での子ども長時間マスク着用、黙食は見直しを



そね文子 (平和)

問 コロナについての子どもアンケートで、6割が学校でマスクを外したくても外せない、と苦しい本音を回答している。杉並区では教育長が、一定の場面ではできるだけマスクを外すようHPにメッセージを出したが、それが学校現場に浸透していない。教育長のメッセージが保護者に伝わるよう対応を求める。

答 機会を捉え周知を進める。

問 文科大臣が、給食時の黙食を必ずしも求めていないと述べ、感染対策をとれば会話ができる」と示した。一部の自治体で、小聲で話して良いなど黙食緩和の動きも出ている。一刻も早く黙食指導をやめてほしいが。

答 現在の方針を継続する。

問 昨年度の区内の不登校生徒の数は急増し、小中合わせ704人とのこと。全校で別室登校を認めることを徹底してほしい。

答 対応すべきものと認識。

問 不登校の子どもの親の会が、相談対応を行うことで救われる保護者も多い。実績ある親の会の情報提供を区教委はHPなどで行ってほしいが、いかがか。

答 掲載可能なものは対応する。

防災を軽視せず、区民の納得感あるまちづくり基本方針を



大泉やすまさ (自杉)

問 まちづくり基本方針について、道路整備を修正した地域においては防災の視点が置き去り。脱炭素化は重要だが、総合的に検討する必要がある。今回の修正で、そうした検討はしたのか。

答 防災都市基盤の整備等のハード面に加え、感震ブレーカーの設置促進等のソフト面の取組も併せ、総合的に検討すべき課題と認識している。

問 助成を求める声が増えているのと考えている。

答 助成を求め声が増えているのと考えている。



家賃助成制度創設、高齢者の死後事務委任、都計審の公開



奥山たえこ (杉耕)

問 23区の家賃助成独自制度実施区のうち、最上位の区の負担額はいくらか。

答 推計8136万円。

問 杉並の家賃は1DKで6万円程度、最低賃金収入だと残りの生活費は7万5千円。ひとり親は手取りの2〜3割が家賃。住み続けるためには、家賃助成の要請が高まると考えるが。

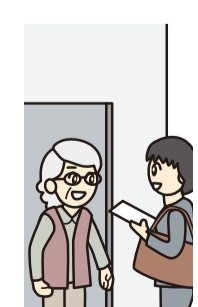
答 助成を求め声が増えているのと考えている。

問 杉並区社会福祉協議会の「あんしん未来支援事業」は、預託金制度で死後事務を担ってくれる頼りになる制度だ。しかし基本である「見守りサービス」の利用は伸びていない。利用実績は。委任需要の今後はどうか。

答 令和4年度は10月末現在で22件の利用実績。委任のニーズは高まっていくと考えている。

問 10月の都市計画審議会では、録音の二次使用は禁止と決定した。各種審議会で、方針を統一すべきだ。

答 事情が審議会ごとに異なるので運営方針を統一することは困難だが、区政情報は区民と共有すべきもの。運営の工夫や見直しを各課に促していく。



【問】 気象庁は令和4年6月より、線状降水帯の発生予測を発表。同情報を活用し、早めの対策や避難を促す他自治体も、7年後には市町村単位での予測も予定される。当区も活用すべきでは。

【答】 重要な判断材料の一つ。避難呼びかけ等に役立てていく。

【問】 エネルギーの地産地消の意義は①地域内の経済循環②災害時等のエネルギー確保③再エネによる二酸化炭素排出量の削減が指摘される。多摩市や八王子市では、地域の清掃工場で発電した電力を市役所等で利用。区内の地産地消エネルギーとして、杉並清掃工場のさらなる有効活用を訴え、ごみ焼却熱による熱供給や発電の利用状況を伺う。

【答】 高井戸地域区民センターの空調や温水プール等へ無償提供。高効率の発電設備を活用し、昨年は約1億1千万kWhを発電し、中央図書館や区民センター等33施設で利用。今後の可能性については意見交換をしていく。

【問】 区立施設再編整備計画で、太陽光パネル設置目標を伺う。

【答】 今後策定の地球温暖化対策実行計画を踏まえ、来年度予定の計画改定に向け検討していく。



大槻城一 (公明)

線状降水帯の発生予測を活用。エネルギーの地産地消を促進

【問】 選挙を悪用したヘイトスピーチによる人権侵害が起きないよう、対策が必要ではないか。

【答】 候補者への周知徹底と区民への啓発を行い、選挙期間中のヘイトスピーチ防止に努める。

【問】 あらゆる差別を禁止し、人権尊重と多様性豊かな共生社会を進める包括的な条例の創設を。

【答】 既に杉並区自治基本条例に、人権尊重に関する基本理念を定めており、区民に周知する機会を改めて設けていきたい。

【問】 まちづくり基本方針・骨子案に集まった意見はどれも高い見識と熱意で書かれている。素晴らしい住民参画で区民の住民自治の意識の高さの表れだと考える。どう受け止めているか。

【答】 区民の区政への参画を尊重したい。区民の声は「杉並から始める新しい民主主義」を創り上げていく原動力になる。

【問】 善福寺川緑地公園は先人たちが「50年先の緑豊かな杉並のために」と尽力した。オオタカの営巣地や緑を壊す都市計画道路133号線は見直すべき。

【答】 区では防災面や環境負荷の軽減を図る観点等ニーズに適した観点から効果を検証する考え。



ひわき岳 (立無)

全ての差別をなくす条例を自然を壊す道路計画は見直しを

【問】 これまで区は多くの児童館を廃止し、児童福祉が後退してきた。特に小学生の放課後の居場所が減少したことは誰も否定できない。今後の再編見直し予定はどうか。また、児童福祉・心理の専門家らによる公開の検討会の開催を求める。

【答】 児童館については令和6年度中を一つの目標に検討する。検討組織等のご意見は参考とさせていただきます。

【問】 本天沼区民集会所、天沼区民集会所、ゆうゆう天沼館の3つを1つに集約するのは無理がある。説明会では多くの意見が出された。今後とも住民意見の聴取を求める。

【答】 高齢者の活動場所や旧若杉小の本格活用など率直な意見が出された。今後精査していく。

【問】 河北総合病院建て替え工事が7カ月半遅延する。これにより、杉一小の移転・改築は予定よりさらに1年程度遅れるのではないか。教育委員会としてはどのような姿勢で臨むのか。

【答】 学校建て替えには少なからぬ影響があると考える。病院に対しては区長部局を通じ可能な限り工期短縮を求めている。



松尾ゆり (杉わ)

児童館、ゆうゆう館の廃止は、住民参加で計画見直しを

【問】 違法な生活保護費の引下げがあったとして区などが行った減額処分の取消しが言い渡された(東京地裁6月24日判決)。多くの受給世帯に波及する。違法との判断は遺憾であり、控訴審を注視していく。

【問】 判決まで足掛け7年。当時の区の受給者のうち現在までに死亡された方は何人か。

【答】 存否応答拒否(回答なし)。

【問】 前区長が退職直前に控訴を提起したが、区は判決正本・控訴状・控訴理由書など「情報が存在しているか否かを、お答えできません」と回答していた。

【答】 区としては存否応答拒否。

【問】 減額処分の違法・取消しが確定すると、区は差額を支払う必要がある(偶発債務)。生活保護費は年150億円。このうち生活扶助は平成25年当時ほとんどの受給世帯で減額となっており、平均6・5%引き下げられていた。この判決を踏まえ、偶発債務の額を明確にしたい。

【答】 算定していない。

【問】 偶発債務は決算上明確にしなければならぬ事項である。財務書類の注記に記載が必要だ。必要ないと考えている。

【答】 必要ないと考えている。



堀部やすし (無)

杉並区敗訴 偶発債務の額を隠すな!

常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします(7~12月)

常任委員会

Table listing committee activities for the Standing Committee, including sub-committees like General Affairs and Finance, District Life, and Welfare.

◇都市環境委員会

Table listing committee activities for the Urban Environment Committee, including meetings and investigations.

◇文教委員会

Table listing committee activities for the Education and Culture Committee.

議会運営委員会

Table listing committee activities for the Council Administration Committee, including meetings and resolutions.

特別委員会

◇災害対策・防犯等特別委員会

Table with 2 columns: 内容, 日付. Includes items like 派遣内容, 開会日, 所管事項調査, 視察日, 視察内容, 開会日, 所管事項調査.

◇道路交通対策特別委員会

Table with 2 columns: 内容, 日付. Includes items like 視察日, 視察内容, 開会日, 所管事項調査.

Table with 2 columns: 開会日, 所管事項調査. Includes items like 開会日 4年12月1日, 所管事項調査 外環道の進捗状況について ほか1件.

◇文化芸術・スポーツ・まちのにぎわいに関する特別委員会

Table with 2 columns: 内容, 日付. Includes items like 開会日, 所管事項調査, 開会日, 所管事項調査.

◇DX・議会改革に関する特別委員会

Table with 2 columns: 内容, 日付. Includes items like 開会日, 所管事項調査, 開会日, 所管事項調査.

議案等の概要と審議結果

【第4回定例会】

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 欠=欠席 令和4年12月6日議決 (◆は11月21日)

Main table with columns: 議案番号, 件名, 概要, 自杉, 公明, 自民, 共産, 立無, 平和, 無維, 革新, 正理, 杉わ, 共生, 杉耕, 無自, 結果. Lists various council resolutions and their outcomes.

議員別の表決結果は、杉並区議会ホームページの「議案・議決結果の一覧」でご覧いただけます。

《会派名・構成人数》(令和4年12月6日現在)

自杉/自由民主党杉並区議団(9人)、公明/杉並区議会公明党(7人)、自民/杉並区議会自由民主党(6人)、共産/日本共産党杉並区議団(6人)、立無/立憲民主党・無所属クラブ(4人)、平和/いのち・平和クラブ(4人)、無維/自民・無所属・維新クラブ(4人)、革新/都政を革新する会(1人)、正理/正理の会(1人)、杉わ/杉並わくわく会議(1人)、共生/共に生きる杉並(1人)、杉耕/杉並を耕す会(1人)、無/無所属(1人)、自/自民党(1人)

議員の報酬額をお知らせします

議員報酬については、杉並区特別職報酬等審議会の答申に基づき、区議会の審議を経て、条例で定めています。(令和4年4月1日現在)

Table with 2 columns: 報酬月額, 金額. Lists salaries for 議長, 副議長, 委員長, 副委員長, 議員.

※区長などの給料は「広報すぎなみ(令和4年12月1日号)」等に掲載しております。

令和4年11月28日に全員協議会を開催し、「杉並区実行計画等の一部修正案」について区からの説明を受けました。区からの説明を受け、各会派の代表が様々な質疑を行いました。全員協議会の会議録は、杉並区議会ホームページに掲載予定です。

全員協議会を開催しました

陳情の審査結果

【採択】 手話言語条例に関する陳情(4陳情第25号) 【趣旨採択】 1号線の一方通行規制保持の陳情(4陳情第16号) 【未採択】 萩窪の防災・人に優しいまちづくりに関する陳情(4陳情第17号) ◇杉並区全公共施設の改築および改修計画時に環境配慮型の建築を作るための陳情(4陳情第21号)